

別紙

I. 事業評価総括表

(単位:円)

番号	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に 要した経費	交付金充当額	備考
	幌延深地層研究センターに係る広報・調査等交付金事業	幌延町	6,424,328	6,423,618	

(備考)事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表

番号	交付金事業の名称		
	幌延深地層研究センターに係る広報・調査等交付金事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		幌延町	
交付金事業実施場所	幌延町一円		
交付金事業の概要	原子力及び幌延深地層研究センターの研究内容に対する理解促進に係る事業を実施します。 具体的には、エネルギー関連施設見学会の実施、講習会の実施、広報用パンフレットの配布、情報収集等です。		
総事業費	6,424,328	交付金充当額	6,423,618
		うち文部科学省分	-
		うち経済産業省分	6,423,618
交付金事業の成果目標	原子力、幌延深地層研究センターの研究等について、地域住民への最新で正確な事業内容に関する情報収集による知識の蓄積・普及を促進するとともに、町と関係機関との的確な連携構築により、地域住民の安全の確保や不安・疑念の解消を図ることを目的として事業を実施します。		
交付金事業の成果指標	成果目標の達成のため、本交付金を活用した事業により、エネルギー関連施設見学会の町民参加50名、講習会の地域住民参加180名、広報用パンフレット配布部数300部により、知識の普及を図ります。 なお、エネルギー関連施設見学会においては、見学者の施設理解度を60%と設定します。		
交付金事業の成果及び評価	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大防止等の観点から、町民限定で「工作実験教室」(会場:幌延深地層研究センターゆめ地創館)を開催し、参加者45名に対し、幌延深地層研究センターにおける最新でより正確な事業内容に関する知識や情報を得、また、幌延深地層研究計画や原子力発電に関する知識の普及に努めることにより、地域住民の安全の確保や不安・疑念の解消を図るとともに、幌延深地層研究計画や原子力発電に関する知識の普及を図ることができました。 ・広報用パンフレット450部を配布し、知識の普及を図ることができました。 ・昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止等の観点からエネルギー関連施設見学会については、実施見送りとなりましたが、来年度以降については、地域住民の安全の確保や不安・疑念の解消を図るため、今年度実施できなかった事業も含めて、継続して事業を実施していきます。 		

交付金事業の契約の概要

契約の目的	契約の方法等	契約の相手方	契約金額
研修(旅費)	—	幌延町職員、議員	286,680
情報収集整理	随意契約(競争入札不適)	各新聞社等	365,406
情報収集整理(給料、手当、共済費)	—	幌延町会計年度任用職員	3,655,024
情報収集整理	随意契約(少額)	ダーシェニカ	42,182
新聞、雑誌等広報	随意契約(競争入札不適)	各出版社等	1,710,130
ポスター、チラシ、パンフレット等広報	随意契約(少額)	ダーシェニカ	92,400
ポスター、チラシ、パンフレット等広報	随意契約(競争入札不適)	一般社団法人日本電気協会新聞部	144,540
講演会、講習会、懇談会(会場運営費)	随意契約(少額)	ダーシェニカ	26,829
講演会、講習会、懇談会(告知案内費)	—	各新聞社	2,877
連絡調整(旅費)	—	幌延町職員	95,400
連絡調整	—	東日本高速道路株	2,860
計			6,424,328

成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無

無